

## 令和8年度「初夏の里山で身近な生き物を探そう！」

**日時** 令和8年6月6日（土） 午前9時30分から

**行程** 本宮山頂駐車場 → 砥鹿神社奥宮休憩所 → 旧スケートリンク → 本宮山頂駐車場

### 当日の様子



今回の「初夏の里山で身近な生き物を探そう！」は本宮山頂周辺で開催しました。

当日は21人が参加して、東三河自然観察会の今泉佳代子先生達と本宮山頂周辺に生息する動物や植物などを観察しました。さっそく駐車場ではシジュウカラが出迎えてくれました。様子を観察していると近くのガードレールの支柱の中で営巣していることが分かりました。

砥鹿神社奥宮へ向かう道中においてはスイカズラやウツギなどの木々が白い花を咲かせていました。草や葉が青々と茂る5月は、より目立つようにと白い花を咲かせる植物が多いとのこと。同時に色素を生成するエネルギーを節約しているそうです。

奥宮休憩所の前に着くと、水たまりの中にヒキガエルのオタマジャクシが群れていました。よく見ると手足が生えているオタマジャクシも。先生曰く前日の下見ではここで小さい蛇「ヒバカリ」がオタマジャクシを捕食していたそうです。オタマジャクシを何匹か観察ケースですくうと、参加者たちは興味深そうに横からオタマジャクシを観察していました。

その後は旧スケートリンク場へ向かいます。ここに整備されている湿地帯ではモリアオガエルやシュレーゲルアオガエルの卵（泡巣）が観察できました。水中にはたくさんのアカハライモリが。なんと落ちてくるモリアオガエルのオタマジャクシを捕食するため待ちかまえているとのこと。今回は様々な両生類も観察でき、本宮山頂周辺の自然の豊かさを実感することができました。



↑スイカズラ



↑ウツギ



↑オタマジャクシが泳ぐ水たまり



↑ヒキガエルのオタマジャクシ



↑モリアオガエルの泡巣



↑シュレーゲルアオガエルの泡巣

### 観察した主な植物等

ウツギ、クリンソウ、クロマツ、サクラタケ、シバフタケ、スイカヅラ、スエヒロタケ、スギ、ヒカゲノカズラ、ヒノキ、ヒノキオチバタケ、ヤマボウシ 他

### 観察した主な動物

アカハライモリ、オオセンチコガネ、ヒキガエル（オタマジャクシ）、ザトウムシ、シジュウカラ、シュレーゲルアオガエル、ニワハンミョウ、ハサミムシ、ハラナガツチバチ、モリアオガエル 他

### 参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・本を読むだけでは分からないことも多いので、色々と教えていただけました。
- ・ケースで観察できて見やすかったです。
- ・普段見られない、意識することがない生物について立ち止まって考えることができ楽しかったです。

などのご意見をいただきました。